

病理部

研修の概要と特徴

臨床医や病理専門医に必要な病理診断学の基本を学ぶことを目的とする。

研修実施責任者と指導者

- a. 研修実施責任者
病院病理部： 三上芳喜（総括）
協力支援講座：大学院生命科学研究部（機能病理学：伊藤隆明、細胞病理学：菰原義弘）
- b. 研修指導責任者
三上芳喜（指導協力者：本田由美、安里嗣晴、川上 史、塩田拓也）

定員

年間を通じて6名～8名程度（研修期間を2～11ヶ月とした場合）
原則として研修医1名に対し指導医1名の体制で行う。

研修内容と到達目標

1. 研修目標
 - a. 様々な疾患の病態や組織学的特徴を臨床的視点から理解する（研修期間：1ヶ月）。
 - b. 病理診断に必要な検体の肉眼観察およびその記録、切り出し処理ができる（研修期間：1ヶ月）。
 - c. 病理組織所見を正確に把握して記述することができる（研修期間：2ヶ月）。
 - d. 主要な疾患の診断基準を理解し、病理診断を確定することができる（研修期間：3ヶ月）。
 - e. 診療ために必要な情報を適切に記載して病理診断報告書を作成することができる（研修期間1ヶ月）。
 - f. 病理診断に必要な標本作製技術、特殊染色、遺伝子解析の原理などを理解する（研修期間：1ヶ月）。
 - g. 病理診断の精度管理ならびに医療安全に貢献することができる（研修期間1ヶ月）。
2. 研修の方略
 - a. 生検・手術検体の病理診断
 - b. 術中迅速病理診断
 - c. 細胞診（呼吸器、婦人科、乳腺、甲状腺、尿、体腔液など）
 - d. 病理解剖

教育に関する行事

1. 症例検討会（毎日）、細胞診検討会（毎日）、消化器、呼吸器合同カンファレンス（各々月一回）、脳神経外科カンファレンス（毎週月曜）、泌尿器科カンファレンス（隔週水曜）、婦人科病理カンファレンス（月1回）、病理解剖症例検討会（随時）、病理診断関連セミナー（随時）
2. 日本病理学会九州・沖縄支部主催スライドカンファレンス（6回/年）、日本病理学総会、国際病理アカデミー（IAP）主催のセミナー、臓器別診断セミナーなどへの参加

評価方法

指導医が随時点検し、研修医の到達目標の達成を援助する。修了時には自己評価の結果は臨床研修指導責任者の点検を受ける。